



## 協働のまちづくりをめざして

羽幌町長 舟橋 泰博

新年 明けましておめでとございます。  
います。

輝かしい平成20年の新春を迎え、  
謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。  
町民の皆様には、平素より町行政  
に対し暖かいご支援とご協力を賜り、  
心から深く感謝を申し上げます。

さて、昨今の国内経済を見ますと  
「設備投資を中心に緩やかな回復を  
続けている」と言われておりますが、  
本町をはじめ地方では都市との格差  
が顕著で、依然として厳しい状況に  
あります。加えて、石油価格の高騰に  
よる家庭経済への圧迫など、かつて  
ない厳しい環境となっております。

我が町の1年を振り返りますと、

5月には、30年ぶりとなりました、社  
会人野球大会」の開催や、ご当地グル  
ム「日本海えびタコ餃子」の発表、8  
月には、北海道海鳥センターの入館  
者が20万人を達成」、10月には、第30  
回北海道観光大会」の開催、12月には  
光ファイバーによる超高速インター  
ネット「Bフレックス」のサービス開始  
など、観光や情報発信における活発  
な年でありました。

農業では、3年連続で水稲が豊作  
となり、高品質米割合も約70%と最  
高記録を更新」するなど、本年2月に  
完成予定のライススターミナルと相  
まって、市場ニーズに対応した羽幌  
産米の生産出荷の促進が図られます  
よう、期待を寄せております。

漁業では、主力のエビ漁が平年並  
みとなりましたが、ナマコ漁が魚価  
の上昇により第2位の水揚げ金額を  
達成しました。漁業環境の厳しい中  
ではありますが、豊漁の一年となる  
よう願っております。

こうした中、本町では平成18年9  
月に策定いたしました「自立プラン」  
に基づき、自立に向けた取り組みを  
進めております。

4月には町民が積極的に町政運営  
に計画過程から参画頂くための羽幌  
町「自立と共生のまちづくり町民提  
案制度」を創設し、9月には、これま  
での「方面区(町内会)担当職員制度」  
を、より有効に活用できるよう見直  
しを行い「羽幌町地域情報連絡員制  
度」の制定をいたしました。これらの

取り組みなどにより町民と行政との  
協働によるまちづくりをめざしなが  
ら、自立への道を歩んでまいりたい  
と考えております。

本年も、依然として厳しい状況が  
続き幾多の困難も予想されますが、  
皆様と協働しながら、引き続き努力  
をしてまいりたいと考えております  
ので、今後におきましても、より一層  
の深いご理解とご協力をお願い申し  
上げますとともに、皆々様の益々の  
ご健勝とご繁栄を心からお祈りいた  
しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。